



7/4（金）

16:30-18:00

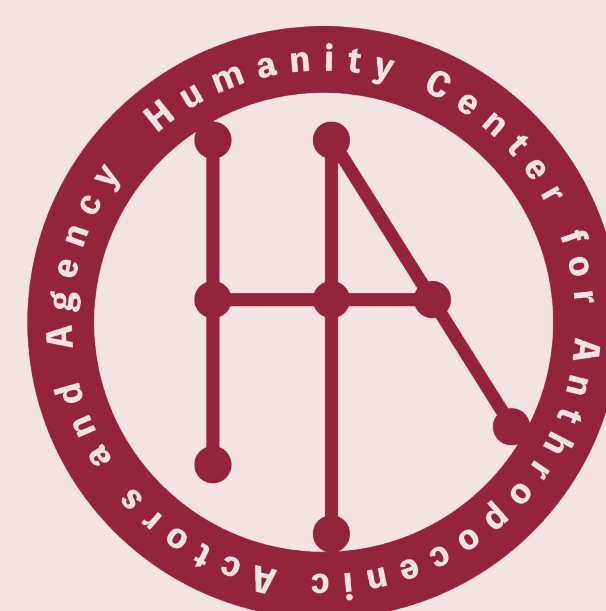
文学部講義棟 127 室

橋本 健広 教授 中央大学

デジタル・ヒューマニティーズの文学研究では遠読とよばれる独特の研究手法がある。遠読とは大量の文学テキスト全体にみられる特徴的な傾向を選び示す俯瞰的なテキストの読みの手法である。これは精読と呼ばれるテキストを精緻に読み込むことで言葉の意味や形式、あるいは複雑な統一といったものを見出す伝統的な文学研究とは異なる方向性を持つ研究手法である。本講演では、遠読に対する批判や位置づけを考慮しつつ、トピックモデリングによる遠読や、古典的手法あるいは大規模言語モデルを使用した少量の文学テキストの分析事例をみていきたい。またそこで問題となる文学研究における遠読と精読の課題を探りたい。

初心者歓迎！お気軽にご参加ください

- ・対象：データ分析に関心のある方、初心者の方も大歓迎です
- ・参加費無料・入退室自由
- ・事前申し込み：不要
- ・Zoom リンク，配布資料，配信動画（後日）など，QR コード /URL でご確認ください



遠読と精読—文学研究における
デジタルな分析と課題